

# 手のひら×顔によるマルチ生体認証 ～非接触で利便性の高い手ぶら決済～

先進技術

参考出展

## ■ マルチ生体認証とは

- 顔情報で、あらかじめ100万人から1万人へ、照合対象者を選別し、手のひら静脈と顔を融合して、本人を特定します。
- 手のひら静脈認証と顔認証の特長を組み合わせることで規模拡大と速度を両立します。

手のひら静脈
✓ 認証精度が高い (生体認証でトップレベル)
✓ 偽造が困難

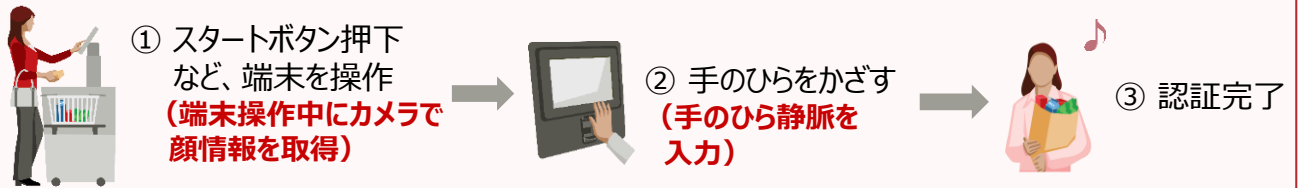


顔
✓ カメラを意識するわずらわしさをしに、撮影・認証できる
✓ 本人確認書類の写真を活用できる

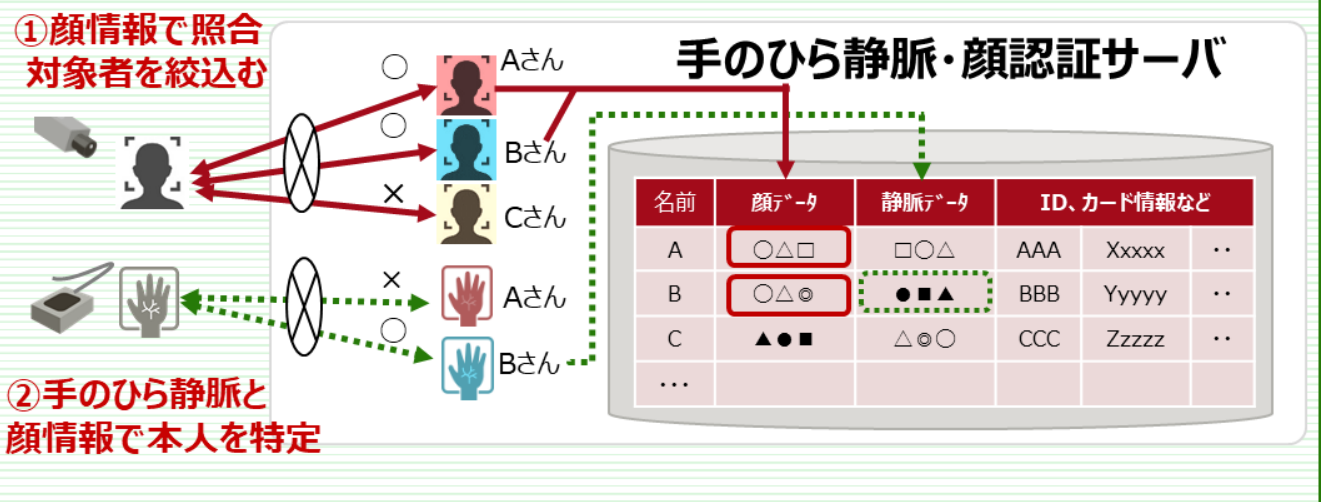
## ■ お客様のメリット

- 手のひらと顔の融合認証で100万人規模の認証を実現
- 利用者がカメラを意識せずに顔情報を入力でき、高い利便性を実現
- 非接触な生体認証の融合によるクリーンな認証を実現

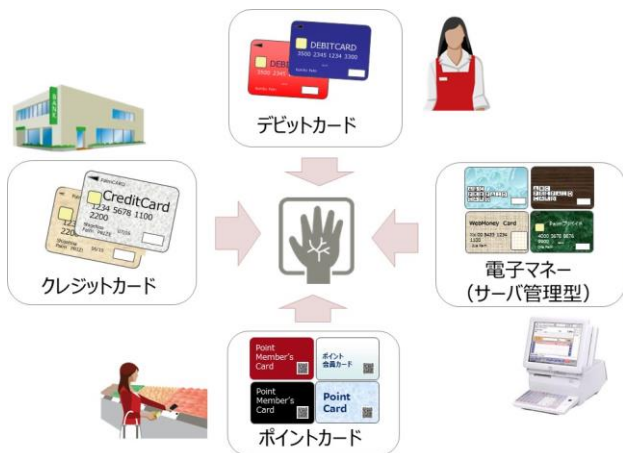
### 【利用者の操作】



### 【認証システム】



## ■ 生体認証カードレス決済とは



「財布内のカードを手のひらに紐づける」ことで、カードの代替とし、カードレスを実現します！

### 利用者様のメリット=手ぶらでお買い物

- ✓ 財布・カードが無くても、手ぶらでお買い物
- ✓ 手をかざすだけの簡単な決済操作

### 小売店様のメリット=機会損失の低減による売上増

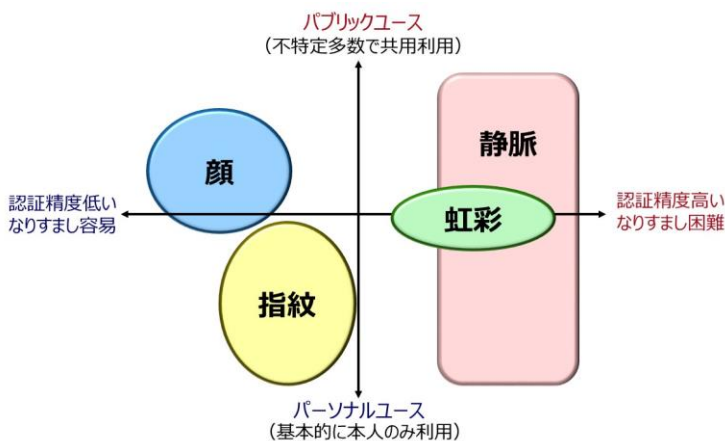
- ✓ カード忘れによる購買中止をなくし、売上げ増
- ✓ 利便性に基づく顧客満足度向上

### カード会社様のメリット=トランザクション増に伴う売上増

- ✓ カードホルダ増/売上トランザクション増による売上増
- ✓ カードレス化による不正発生機会の低減

## ■ 各生体認証方式の特徴

生体認証方式は各々特徴があるので、適用シーンにあわせ、適材適所で選定いただくことが重要です。  
**決済での本人認証においては、高精度かつ偽造困難な静脈認証が最適**です。



静脈	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体内情報であるため偽造困難</li> <li>・セキュリティ要求レベルが高い市場に適合</li> <li>・登録できない人が非常に少ない</li> </ul>
顔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や動画でなりすまし可能な製品もあり</li> <li>・防犯・テロ対策、マーケティングで活用</li> <li>・監視のイメージから心理的抵抗あり</li> </ul>
指紋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小型で低価格</li> <li>・指がセンサーに触れるため、衛生面が課題</li> <li>・犯罪捜査のイメージから心理的抵抗あり</li> </ul>
虹彩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高価格</li> <li>・スマホや入室装置等への適用</li> <li>・目の大きさや「コンタクトレンズ」の影響あり</li> </ul>

## ■ 手のひら静脈認証とは

手のひらの静脈パターンを読み取り個人を識別する、富士通が開発・実用化した**世界初**の方式です。  
 業種問わず、国内外で幅広くご採用いただいております。

高い安全性	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 静脈は体の中の情報なので盗まれ難い</li> <li>・体内情報のため、指紋のように残留することがない</li> <li>・顔認証で懸念される、写真や動画によるなりすましが困難</li> </ul>
高い認証精度	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 生体認証のなかで、最高レベルの認証精度</li> <li>・手のひらは静脈本数が多く複雑に交差しているため、認証精度が高い</li> <li>・太い血管が走っているため、寒さの影響が少なく安定して認証できる</li> </ul>
高い受容性	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 手のひら静脈は誰でもいつでも認証に使える部位</li> <li>◆ 非接触で衛生的かつ誰でも抵抗なく利用できる</li> </ul>

